



学校だより

# 山辺里小学校

学校HP <http://saberie.murakami.ed.jp/>

令和3年5月15日 第2号

## 「協」と「働」

校長 小川 誠

「働く」という漢字は、つくりが二つに分かれます。「イ（にんべん）」＋「動」です。働くというのは、人が動くということです。だから仕事をしている時に、しゃべってばかりで、手や足を動かしていなければ、それは働いていることにはなりません。

また、「働く」という言葉は、意味も二つに分かれます。「はた」＋「らく」です。「はた」は、漢字で書くと「傍」と書き、「まわり」という意味です。「らく」は、文字通り「楽」。二つの意味を合わせると、「まわりを楽にする」となります。働くことは、まわりの人を楽にする、笑顔にする、という意味になります。

今、学校では、「協働的な学び」や「地域との協働」など、「協働」の重要性が叫ばれています。「協」は「多くの人で力を合わせる」という意味です。「協働」とは、「様々な学習や活動において、多くの人々が、同じ目標に向かって力を合わせて動く、まわりの人を楽にする、笑顔にする」ということなのだと思います。様々な場面で「協働」することを通して、子どもたちに、地域への自信や誇り、愛着などをもたせ、自分で未来を切り拓くことができる力を育てていきたいと考えています。

4月の中頃、学校運営協議会会長の大滝和良さんが、グラウンドの学校園を耕してくださいました。職員だけではなかなか手が回らずにいたことに気づき、子どもたちのためにと、トラクターで駆けつけてくださったのです。また、別の日には、図書ボランティアの皆様が、今年度の活動について話し合い、計画を立ててくださいました。図書ボランティアの皆様は、毎週木曜日に図書の整理や読み聞かせをしてくださる予定です。このほかにも、田植えや塩引き鮭づくりを教えていただくなど、山辺里小学校では、年間を通して、たくさんの地域の皆様が力を貸してくださっています。

大滝さんや図書ボランティアの皆様をはじめとする地域の皆様のご厚意に心から感謝するとともに、子どもたちを育てるためには学校への協力を惜しまないという山辺里地域の皆様の温かさを肌で感じました。

学校は「協働」が大切です。今度は学校で、子どもたちに力を付け、みんなが笑顔になるような教育活動を展開していきたいと思っています。

